

「竜巻などの激しい突風に警戒を
よびかける
気象情報の利活用ガイドライン」(案)
について

平成20年11月25日
第2回 突風等短時間予測情報利活用検討会
気象庁

竜巻など激しい突風に警戒を呼びかける気象情報の 利活用ガイドライン(案)の概要

目的

平成22年度格子点形式の短時間予測情報開始時点において

- ・ 特定目的の事業者等による利用
- ・ 様々なニーズに適合する情報提供

が速やかに開始できるよう、必要な資料や利用方法、留意点、行動指針、解説での留意点等を事前に開示する。

想定する読者

- ・ 特定目的利用の事業者
- ・ テレビ等の気象解説者
- ・ 情報を加工して提供する民間気象事業者

竜巻など激しい突風に警戒を呼びかける気象情報の 利活用ガイドライン(案)の内容

【第一部】利用と留意点

1. 竜巻などの激しい突風に注意を呼びかける気象情報の解説
2. 突風に関する気象情報の利用方法と留意点
3. 特定目的の事業者等による利用
4. 報道機関や民間気象事業者による情報提供

【第二部】技術解説

気象レーダーの基礎知識

メソサイクロンの検出(気象ドップラーレーダー)

突風ポテンシャル指数(数値予報)

突風危険指数(数値予報 + 気象レーダー)

突風の危険域の解析・予測技術

【参考資料】

竜巻などの激しい突風による被害の現状

コスト/ロスを考慮した竜巻ナウキャストのランクAとBの利用

“突風短時間予測”の利活用に関する聞き取り調査

平成19年度の利活用検討会

建設・教育・鉄道などを対象に竜巻注意情報等の利活用に関する聞き取り調査を実施。

聞き取り調査を踏まえ、
竜巻注意情報等の効果的な
利活用についてパンフレット
・政府広報等で周知した



今年度の聞き取り調査

建設・教育・遊具などを対象に、突風短時間予測を含む突風に関する気象情報
の総合的な利活用について聞き取り調査を実施し、ガイドライン(案)に反映。

聞き取り調査でいただいた主なご意見

建設、学校、鉄道、屋外遊具の事業者等に対して聞き取り調査を実施しました。

- 突風に関する各種の情報を、ファックスやメールなどで、細かいエリア毎に、危険な状況であると知らせるトリガーがあれば有効である。
- 全ての現場で監視のために人がついている訳ではない。有効な格子情報を得られるのであれば、例えば、少なくともランクAの時は現場の作業を中断するといった使い方がある。
- ランクと、現場での観測データをあわせることで、確度の高い運用が出来るかもしれないので、技術的な面にも今後注目したい。
- 屋外で作業をする業者は気象情報が頼りであり、ポイント的な詳細な情報が利用しやすい。判断できる材料は多くあった方がよいので、利用できる情報はなるべく開示して欲しい。精度の重要性はその次である。